



第115期（2026年3月期） 決算説明資料

2026年5月22日
東洋埠頭株式会社
証券コード：9351



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点におきまして入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績などは様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2026年3月期の決算概要 (連結損益計算書)



(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	前期実績	当期実績	前期との増減	
営業収益	35,100	38,079	2,978	8.5%
営業利益	1,155	1,501	345	29.9%
経常利益	1,384	1,943	558	40.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,124	1,466	341	30.4%

【【営業収益】】

国内総合物流事業では、倉庫業、港湾運送業、その他の業務の取扱いが増加。新規施設の本格稼働や料金の改定などにより増収。

国際物流事業では、中央アジア向け輸出貨物などの取扱いが増加し、増収。

【営業利益】

国内総合物流事業では、増収に加えて間接費用の削減などにより増益、国際物流事業では、中央アジア向け輸出貨物の増加により増益。

【経常利益】

営業外収支では、支払利息が増加したが、受取配当金や持分法による投資利益などが増加。

【親会社株主に帰属する当期純利益】

特別損益では、前期に引き続き政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益を計上。

2026年3月期の決算概要 (セグメント別営業収益)



(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	前期実績	当期実績	前期との増減	
国内総合物流事業	31,272	32,809	1,537	4.9%
倉庫業	10,932	11,735	802	7.3%
港湾運送業	8,245	8,597	352	4.3%
自動車運送業	5,787	5,744	△43	△0.8%
その他の業務	6,305	6,732	426	6.8%
国際物流事業	4,211	5,616	1,404	33.4%

【国内総合物流事業】

○倉庫業

麦などの取扱いが減少し平均保管残高は28万トンと横ばい、農産品や合成樹脂などの荷動きが堅調に推移し、入出庫数量は358万トン（前期328万トン）と増加。

○港湾運送業

ばら積み貨物取扱数量は、穀物などが増加し511万トン（前期492万トン）と増加、コンテナ取扱数量は川崎港、志布志港において増加。

○自動車運送業

飲料などの取扱いが減少。

○その他の業務

物流関連施設の賃貸収入が増加。

【国際物流事業】

中央アジア向け輸送貨物の取扱いが増加。

2026年3月期の決算概要 (連結貸借対照表：資産の部)



(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	前期実績	当期実績	前期との増減	
流動資産	10,777	10,545	△231	△2.1%
固定資産	40,213	45,466	5,252	13.1%
(有形固定資産)	28,578	29,486	908	3.2%
(無形固定資産)	799	1,036	237	29.6%
(投資その他)	10,835	14,942	4,107	37.9%
資産計	50,990	56,011	5,021	9.8%

【流動資産】

営業収益増加に伴い、「電子記録債権、営業未収入金及び契約資産」が増加したものの、新規倉庫や事業用地、自己株式の取得により「現金及び預金」が減少。

【固定資産】

(有形固定資産)

新規倉庫や事業用地の取得などにより増加。

(無形固定資産)

新基幹システムの開発（2026年4月より順次稼働）により増加。

(投資その他)

保有株式の株価上昇により「投資有価証券」が増加したことに加え、年金資産も増加したことにより「退職給付に係る資産」が増加。



2026年3月期の決算概要 (連結貸借対照表：負債及び純資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	前期実績	当期実績	前期との増減	
			増減額	増減率
負債	23,460	25,161	1,701	7.3%
(流動負債)	11,593	11,243	△350	△3.0%
(固定負債)	11,866	13,918	2,051	17.3%
純資産	27,530	30,850	3,320	12.1%
(株主資本)	22,649	23,310	661	2.9%
(包括利益)	4,701	7,330	2,628	55.9%
負債・純資産計	50,990	56,011	5,021	9.8%

【負債】

(流動負債)

固定資産の決済などにより「未払金」や「設備関係支払手形」が減少。

(固定負債)

借入金の増加により「長期借入金」が増加したことに加え、保有株式の株価上昇により「繰延税金負債」も増加。

(有利子負債)

長期短期合わせた借入金は増加。

【純資産】

(株主資本)

自己株式を取得したものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより「利益剰余金」が増加。

(包括利益)

保有株式の株価上昇により「その他有価証券評価差額金」が増加。

2026年3月期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)

(単位：百万円未満切捨て)

	前期実績	当期実績	前期との増減
期首残高	2,260	4,486	2,225
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,153	3,261	1,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,219	△3,512	△1,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,295	△244	△2,539
換算差額	△3	16	19
期末残高	4,486	4,007	△479



【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業収益が増益となったことや「リース投資資産の増減額」が減少したことなどにより増加。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

新規倉庫や事業用地の取得などに伴い、「固定資産の取得による支出」が増加したことなどにより純支出が増加。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

「長期借入による収入」が減少したことなどにより純支出が増加。

2026年3月期の決算概要 (現金及び現金同等物の推移)



(単位：百万円未満切捨て)

	直近の現金及び現金同等物の推移				
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	当期
期首残高	2,886	3,429	2,523	2,260	4,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,788	4,184	2,604	2,153	3,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,943	△4,176	△1,100	△2,219	△3,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,679	△945	△1,760	2,295	△244
換算差額	18	31	△5	△3	16
期末残高	3,429	2,523	2,260	4,486	4,007
フリー・キャッシュ・フロー	△3,155	8	1,503	△66	△250

(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額です。

2026年3月期の決算概要 (業績推移、次期の業績予想)



(単位：百万円未満切捨て)

	直近の業績推移					2027年 3月期予想 (2026年5月14日 公表の業績予想)
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	当期	
営業収益	36,123	38,086	34,697	35,100	38,079	38,000
営業利益	1,479	1,537	978	1,155	1,501	1,400
経常利益	1,769	1,846	1,152	1,384	1,943	1,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,132	1,266	980	1,124	1,466	1,400

【次期の見通しについて】

(プラス要因)

事業の拡大・経営基盤の強化

- 新規施設の本格稼働による貨物取扱い拡大
- 適正な収受料金への改定
- 国際物流事業の拡大
- 新基幹システムの本格稼働とDXの推進

(不確定要因)

地政学リスクの一層の高まり

- 中東情勢の緊迫化、ロシア・ウクライナ戦争の長期化

経済動向

- 原料供給の不安定化、為替動向、諸物価の高騰

労働力不足

- 物流業界での労働力不足、人件費高騰

2026年3月期の決算概要 (業績推移)



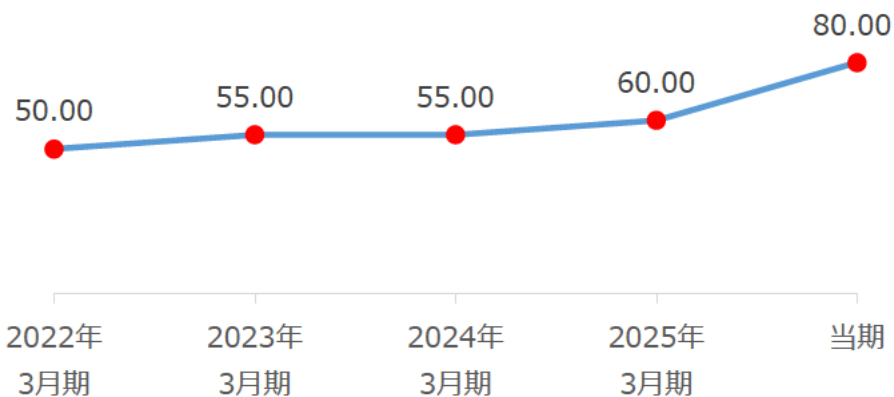
1株当たり当期純利益 (単位: 円)



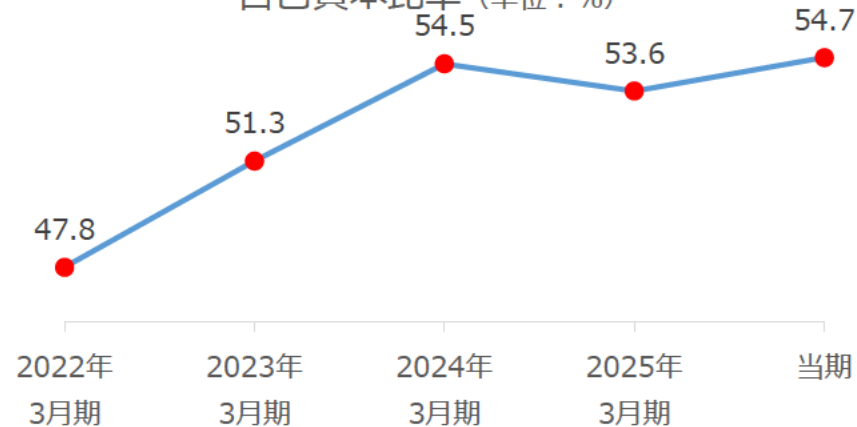
1株当たり純資産 (単位: 円)



1株当たり配当金 (単位: 円)



自己資本比率 (単位: %)



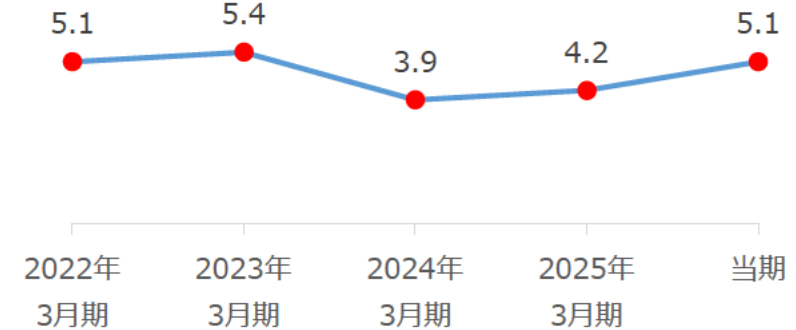


2026年3月期の決算概要 (直近の期末株価、各利益率等の推移)

期末日の株価 (終値・単位：円)



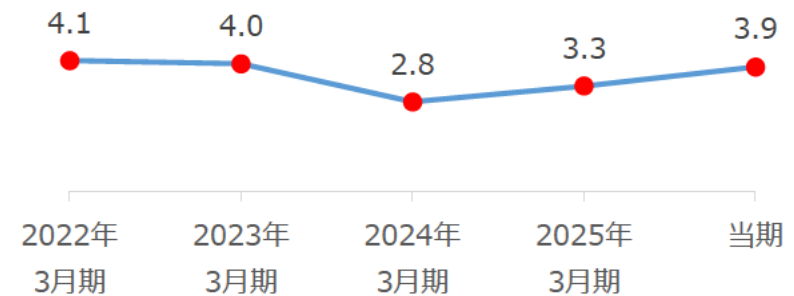
自己資本当期純利益率 (単位：%)



総資産経常利益率 (単位：%)



営業収益営業利益率 (単位：%)



ご参考：創業100周年 2028年度に向けて



創業100周年 2028年度に向けて

得意な事業展開と独自性の発揮、既存事業継続
国際物流拡大、新規事業稼働、積極的な投資

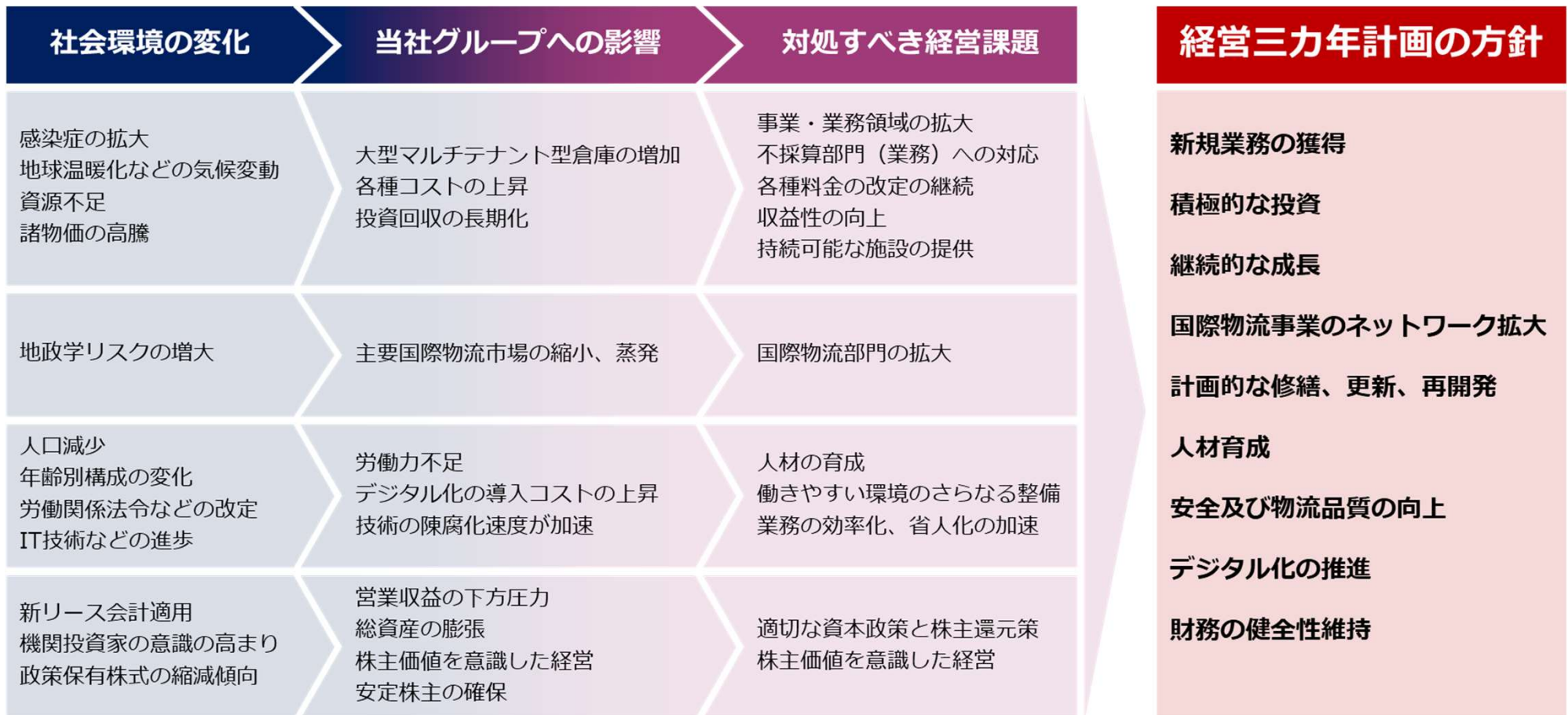
働きやすい職場環境の確立

社会全体の**サステナビリティ確保**に貢献



持続的な成長の実現

ご参考：新 経営三カ年計画「Fly to the Next 2028」



ご参考：新 経営三カ年計画「Fly to the Next 2028」



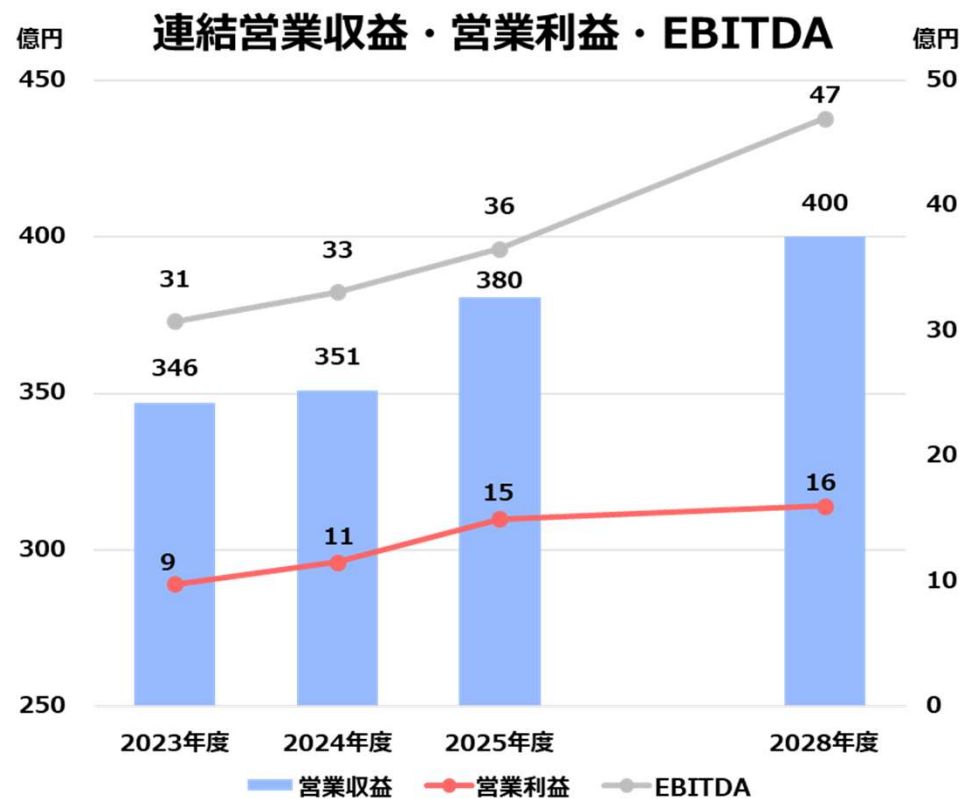
連結収支計画（2028年度）

	2025年度実績	2028年度
営業収益	380億円	400億円
営業利益	15億円	16億円
当期利益	14億円	15億円
EBITDA	36億円	47億円

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

投資計画（2026年度から2028年度の総額）

	成長・効率化投資	更新投資	合計
投資金額	120億円	115億円	235億円





東洋埠頭株式会社
TOYO WHARF & WAREHOUSE CO.,LTD.